

相談

日曜 遺言等公証法律相談

【日時】(毎月1回)

2月20日(日)

午前10時～午後4時

【場所】

中村公証役場

(四万十市中村大橋通6―

3―7 第一とらやビル4階)

【相談内容】

遺言、相続、金銭・不動産の貸借、離婚にともなう養育料・慰謝料・財産分与、高齢者の財産管理 など

【担当者】

高知地方事務局所属

中村公証役場公証人

○ご予約・お問い合わせ

中村公証役場

☎34―1728

※平日に事前に予約してください。

高知大学医学部だより

◆テーマ

「糖尿病」について

現在世界中で糖尿病患者さんの数は増加しています。日本では平成19年には、なんと約2210万人の方が糖尿病

の可能性を否定できないと報告されました。

糖尿病という病気は、病気の起こる原因によって大きく4種類に分けられますが、現在増加しているのは、その中の2型糖尿病という病気です。

2型糖尿病は、遺伝的な素因や、長年の肥満や運動不足、ストレスのような環境要因が重なることによって発症すると言われています。約70年前まで、日本人は活動量の多い、脂肪より炭水化物を多く摂る生活をしていました。しかし

現在は欧米型の食事、自動車や交通機関に頼ったライフスタイルが変わってしまい、糖尿病の方が増加してきているとも考えられています。

よく糖尿病の症状として、のどが渇く、おしっこによく行くなどが挙げられます。しかし、こういった症状は非常に血糖が高いときの症状です。ほとんどの糖尿病患者さんは血糖が高くとも、全く症状がないことが多いのです。もちろん強い喉の渇きや、頻尿、急激な体重の減少などの症状があれば、すぐに医療機関を受診する必要があります。しかし、ないからといって安心していい訳ではないのです。

健診や病院では、血液や尿

の糖を測定し、1〜2カ月の血糖の平均の値を反映するHbA1c(ヘモグロビン・エーワンシー)という値を測定します。また、それだけでは診断できない方は75gブドウ糖負荷試験といって、糖の入った検査用のジュースを飲む検査を行います。これらの検査で糖尿病があるかないか、また、糖尿病になりやすい状態であるかどうかを判断します。

糖尿病は、決して特別な病気ではありません。今の日本では、誰が糖尿病になってもおかしくないのです。また、現在糖尿病にはきちんとした治療方法があります。適切に治療を行えば、糖尿病があったからといって必ず合併症が出るわけはありません。症状がないからといって安心して、是非糖尿病に興味を持って、健診を受診されるようにして下さい。また、健診で異常を指摘された場合は、元氣だから大丈夫だろうと放置せずに、必ず早めに医療機関に受診して下さい。



著者プロフィール

【氏名】井上 眞理
【所属】高知大学医学部附属病院 内分代謝・腎臓内科 講師

土佐くろしお鉄道(中村・宿毛線)と高知西南交通バスのサポーターを募集しています

私たちの地域の土佐くろしお鉄道中村・宿毛線、高知西南交通バスは、地域人口の減少やマイカーの普及などによって利用者が大幅に減少し、このままでは存続が危ぶまれる状況になっています。皆さん、想像してみてください。鉄道・バスがなくなつたあとの私たちの地域を。

この地域は、太平洋や四万十川など豊かな自然環境に恵まれ、観光が地域での大きな産業のひとつとなっています。鉄道・バスを利用してこの地域に観光で訪れる方がこの移動手段がなくなつたら地域はどうなるでしょう?

この地域の出身者が郷里に帰省するときにどうすればよいのでしょうか?

自動車を運転しない地域の学生の通学、ご高齢の方の通院・買い物はどうすればよいのでしょうか?

鉄道・バスがなくなれば、今より住みにくい地域になることは容易に想像できます。そうならないように、地域の皆さんの力で鉄道・バスを守っていきましょう。

【年会費】

個人…千円/法人…1万円

【活動内容】

①土佐くろしお鉄道と高知西南交通バスの支援

(自ら利用する。さらに利用を呼び掛ける)

②利用促進活動のお手伝い(参加自由)

③サポーターズクラブ会員拡大への貢献(参加自由)

【会員特典】

①全員に、会員限定の鉄道・バス共通回数乗車券(千円相当)をプレゼント

②サポーターズクラブポイントカードを発行

●土佐くろしお鉄道と高知西南交通バスの「共通回数乗車券」をお買い上げ千円ごとにポイントシールを1枚交付します。

ポイントがたまると、共通回数乗車券(100円区間券11枚綴)をプレゼント!

○お問い合わせ

サポーターズクラブ事務局

☎35―4962

高知西南交通

☎34―1266

黒潮町役場 総務課

企画振興係

☎43―2177(直通)

